

## 26 ヨハネ 8 章 31-47

1、「内容観察」この箇所を自分の言葉で表現してみましょう。どんなことが記されてありますか？

2、イエス様はご自分を信じた人たちに大切な真理を語られました。書き出してみましょう (31)

・「わたしの弟子です」ということは、クリスチャンのことです。「本当のクリスチャン」に必要なことはどのようなものなのでしょうか？ (31)

・イエス様の「ことばにとどまる」なら…どうということが起こってくるのでしょうか。(32)

・イエス様の「ことばにとどまる」ことは、どういうことでしょうか。

マタイ 7:21 (23)、24-27

3、「真理はあなたがたを自由にします」と言うイエス様の言葉に反発し、自分たちは「奴隷になったことはありません」と反論するユダヤ人信仰者たち…そんな彼らに、人の内にある「奴隷」性についてなんと語られましたか？ (34)

・私たちの内に次のようなものはないでしょうか？ (ローマ 7:22-24)

ある人は「私たちを取り巻く環境や人のうわさの奴隷」、「世間体やメンツ、名誉と言った者の奴隷」、「欲望やお金の奴隷」、「習慣や性格の奴隷」、また「人を赦すことができない奴隷」

4、人の心を見られるイエス様は、ご自分を信じるという者の内にある罪をご存知でした。どのようなものがあったのでしょうか？

(33)

(37) (40)

・イエス様は彼らの矛盾を表現されました (42)

※ここにクリスチャンが心に留めておかなければいけない大切な事柄がありますね。「イエス様を信じる」ことは素晴らしいことですが、それだけでいいのではなく「イエスの言葉にとどまる」「イエスの言葉を行う」ことがあって初めて神様に喜ばれるクリスチャンになれるのです。(マタイ 7:21)

5、悪魔を父とする者の特徴が記されています、書き出してみましょう。(44)

※救われる以前の私たちは、みなこのような霊に支配されて思い、考え、語り、行動していました。しかし、救われた今は変えられました。自由にされたのです。(47)

・自分の決心を記してみましょう。

6、今日の箇所を通して、神様はどのようなお方でしょうか。またどんな約束、模範がある？またどんな注意、戒めがある？